

第 5 学 年 道 徳 指 導 案

平成 17 年 10 月 28 日 (金) 1 校時

5 年 1 組 (男 22 名 女 15 名 計 37 名)

指導者 小森 陵一

- 1 主題名 自分のよさを (向上心, 個性伸長 1 - (6))
- 2 資料名 日本の「まんがの神様」(出典 学研)
- 3 主題設定の理由

(1) 価値について

第 5 学年及び第 4 学年の内容項目 1 - (6)には「自分の特徴を知って、悪いところを改めよい所を積極的に伸ばす。」となっている。これは、高学年になって初めて扱われ、個性の伸長を図るために積極的に自分のよさをのばす児童を育てようとする項目であり、中学校の「自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。」へと繋がっていくものである。

人はそれぞれ、個性を持っている。個性とはすなわちその人の特徴であり、よさである。それには特技や性格、行動様式などいろいろなものが含まれるが、それらは本来、他の人と比べられることなく、いかなる時でも尊重されるべきものである。個性は、最初から完成されているわけではなく、それぞれが自分の特徴や興味・関心を知り、それを伸ばしていくことによって完成されていく。そして、それぞれの個性やそれを伸ばそうとする努力を、周囲の人間に認められることによって、さらに向上への意欲が高まり、個性がより完成されていく。このように生き生きと生きるためには、個性を伸ばそうと取り組むこと、個性を十分に発揮できることが大切であると考えられる。

この時期の児童は、自我に目覚め、自分の趣味や嗜好、行動様式が確立してくる。しかし、周囲の目を強く意識し始めることにより、それに左右されて、自分を正しく見つめることができないこともよく見られる。そこで自分の特徴に気づくことから長所を知り、それを伸ばそうとすることや、短所に気づき、それを改めることが自己を確立し、生き生きとした生き方に繋がることを理解させたい。

(2) 児童について

本学級の児童は、どちらかというところ明るく素直で、おとなしい性格の児童が多い。4 月に行った道徳に関するアンケートの結果では、「自分が好き」と答える児童が 2/3 をしめたが、反対の答えをする児童も 1/3 いた。7 月に再度行ったときも、ほぼ同様の傾向を示した。また、「自分のよさをどうとらえるか」という問いに対しては、「明るさ」と答えている子が 17 人と最も多く、次に「運動」(10 人)、「がんばるところ」、「積極的に取り組むところ」(それぞれ 6 人)と続く。また、「わからない」と自分のよさを明確に認識できない児童が 15 人おり、自分が好きではないと考える傾向と一致しているように思われる。

このような児童に、自分にもよさがあることに気づかせ、それを伸ばそうとする気持ちを育てるとともに、お互いに個性があり、それを認め合うことによって、みんなが明るく生き生きと過ごすことができることを指導することは、大切なことであると考えられる。

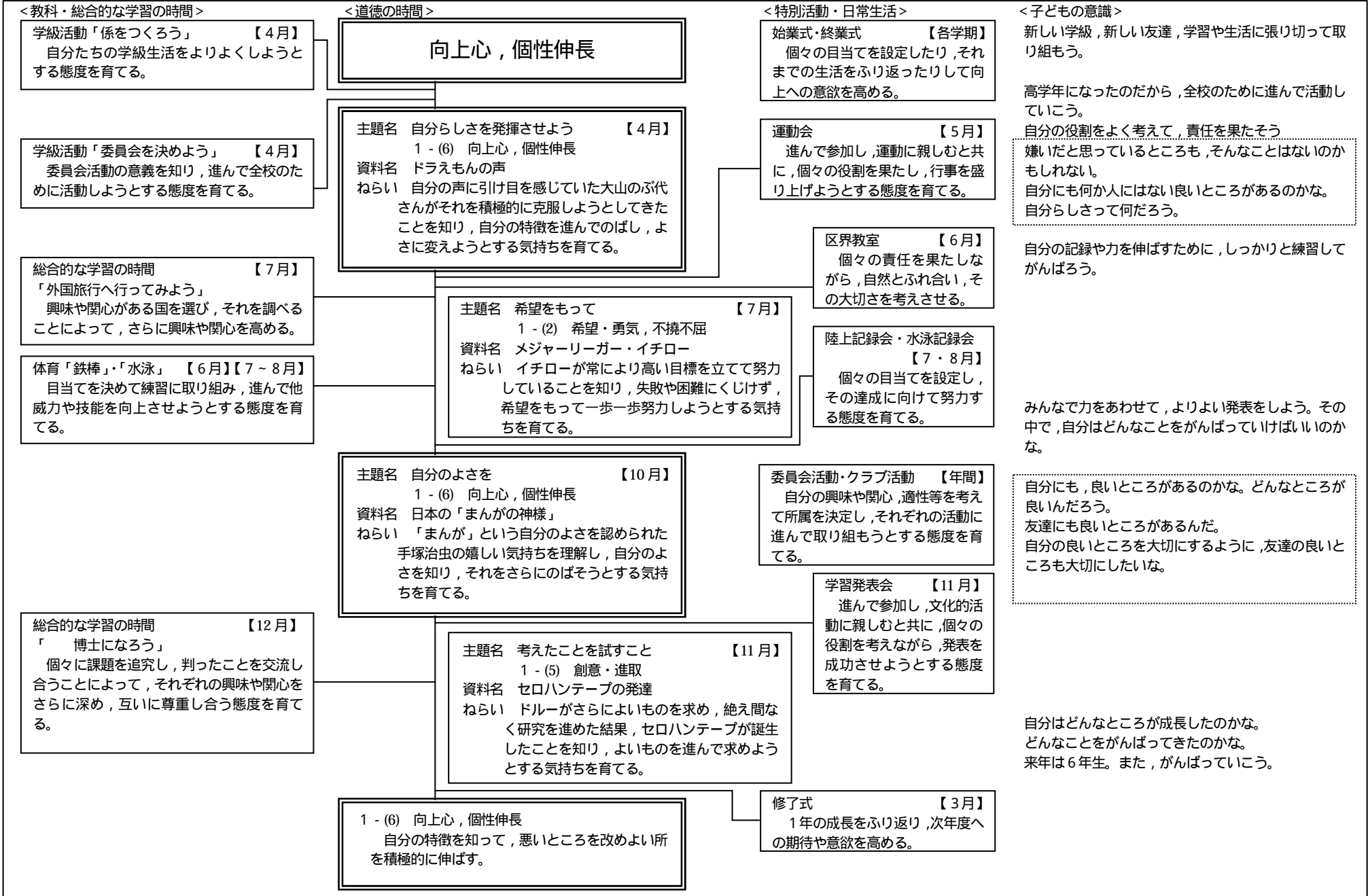
(3) 資料について

本資料は、日本の漫画の礎を築いた手塚治虫氏の少年時代のエピソードを元にしたものである。戦前に少年時代を過ごした手塚は体が弱いことをからかわれていたが、家に漫画の本がたくさんあったことや元々絵を描くことが好きだったことを生かして自らが漫画を書いたことにより、友達からいじめられなくなる。また、ある日、漫画を書いていることを先生に知られてしまうが、逆に漫画を描くことを勧められる。これらのことがきっかけとなり、手塚は漫画を描くことに没頭し、やがては多くの子どもに夢を与える漫画家となっていくのである。自分の特徴を知り、長所を伸ばそうとすることが、自分らしく生きるために大切なことに気づかせるのに適した資料である。

(4) 授業の構想について

本時の指導に当たっては、最後の「まとめる」段階で地域の人材を活用し、価値の一般化を図りたい。地域講師の丸岡千奈美氏は本校児童の保護者であり、日頃から音楽と深い関わりを持ち、声楽を中心に活動している方である。丸岡氏には、音楽と出会うことによって自身の生活や心にもたらされたもの、さらにそういった特徴を伸ばそうと取り組んできた経験等を話していただく。そして、自分の長所を知り、それを伸ばそうとすることが、自己の確立に欠かせないものであることを児童に理解させ、価値に迫りたい。

4 全教育活動における本時の位置付け



5 本時の指導

(1) ねらい 「まんが」という自分のよさを認められた手塚治虫の嬉しい気持ちを理解し、自分のよさを知り、それをさらに伸ばそうとする気持ちを育てる。

(2) 展開

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の発言や心の動き	指導上の留意点や支援
気づく	<p>1 主人公の写真などを見て、知っていることを話し合う。 「手塚治虫」についてわかっていることを話し合しましょう。</p> <p>2 資料を読んで感想を発表しあい、課題を設定する。心に残った場面や主人公の気持ちについて感想を発表しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しい漫画を描いた人。 ・とてもたくさんのまんがを書いた人である。 ・治が描いた漫画をみんなが読んでくれてよかった。 ・先生も漫画を描くことを認めてくれるなんて考えられない。 ・先生から「漫画を描きなさい。」といわれた場面で、治の気持ちを考えたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・手塚治虫氏が描いた漫画のキャラクターを掲示し、関心を持たせる。 ・とても大きな業績を残した人であることを補足する。 ・資料は事前に読んでおき、あらすじについては簡単に確認する。 ・主人公の治について思ったことを発表しあい、課題を設定する。
7分	<p>治は、先生から漫画を描くことを勧められて、どんなことを考えたのだろう。</p>		
深める	<p>3 「治」の気持ちを中心に考え、話し合う 体が弱いことをからかわれていた治はどんなことを思っていたのだろう。</p> <p>家にあるまんがや自分が書いたまんがを友達が読むのを見て、治はどんなことを考えたのだろう。</p> <p>描いていたまんがが見つかったのに、反対に先生から「まんがを描きなさい。」と言われたとき、治はどんなことを思っただろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・何でいじめられるのだろう。 ・いじめられて悔しい。 ・自分はそんなに駄目な人間なんだろうか。 ・いじめるのは止めてほしい。 ・いじめられなくなるにはどうすれば良いんだろう。 ・みんなから読ませてくれと頼まれると気分がいい ・自分がかいたら、みんなはどう思うかな。 ・自分が描いたものをみんなが喜んでくれている。 ・もっとおもしろいものをたくさん描いてみんなを喜ばせよう。 ・先生にみつかってしまった。しかられるかもしれない。 ・まんがを書けなくなったら、またいじめられるかもしれない。 ・自分が書いたまんがをほめてくれて、とても嬉しい。 ・先生が認めてくれて、これが 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身体的特徴をからかわれる不安な気持ちを押さえさせる。 ・それまで自分をいじめていた友達が、喜ぶ姿を見てどんな気持ちだったか考えさせる。 ・最初は家にあるまんがで関心を引いていたが、やがて自分で生み出そうとしたことに気づかせる。 ・まんがが描けなくなることへの大きな不安を知らせることにより、逆に「描け。」と言われたときの喜びに気づかせる。 ・その後、いじめられなくなったが、身体的特

18分		<p>らもまんがを書いて良いんだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・もっとたくさん描いて上手になりたい。 	<p>徴は変わっていないことを押さえさせ，それにもかかわらず，治に対する周囲の目に変化していることに気づかせる。</p>
見 つ め る	<p>4 自分にもよさがあることに気づき，それをのぼそうとする気持ちを高める。「よさの手紙」を見て，感じたことを心のノートに書きましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分にもみんながよいと思うところがあるんだ。 ・自分にもよいところがあったと思う。 ・友達が見つけてくれて嬉しい。 ・これからも自分のよさを大切にしたい。 ・友達のよさも大切にしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・その子のよい所について，事前に友人同士にアンケートをとったものや，親や教師からのことばをまとめておいたものを，一人一人に配布する。 ・アンケートには特技に限らず，性格や行動・習慣など，広い範囲に目を向けながら書かせる。
ま と め る	<p>5 地域講師の話聞き，考えを深める。丸岡さんの話を聞いて，今日の授業を振り返りましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・とてもがんばっている人がいるんだ。自分も何かがんばっていこう。 ・自分によいところがあるってすごく良いことなんだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域講師が自分が打ち込むものに出会うことによって，気持ちがどう変化したかとらえさせる。
10分			
10分			

6 板書計画

作品のキャラクター

肖像

長所

よさ

のぼす努力

先生が認めてくれた。

もっと描いていいんだ。

先生からみとめられた

みんなまんがを楽しみにしている。

ぼくが描いた漫画をみんなが読んでいる。

もっとおもしろい漫画を描きたい。

絵

まんが

いじめられっ子

いじめられていやだ。

どうしていじめられるんだろう。

どうしたらいじめられなくなるのかな。

日本の「まんがの神様」

治は、先生から漫画を描くことを勧められてどんなことを考えたのだろう。

7 資料分析

- (1) ねらい 「まんが」という自分のよさを認められた手塚治虫の嬉しい気持ちを理解し、自分のよさを知り、それをさらに伸ばそうとする気持ちを育てる。
 (2) 資料名 日本の「まんがの神様」(出展 学研)

<p>主な場面</p>	<p>豊かな自然の中で、昆虫を見つけて楽しんでいる場面</p>	<p>体が小さくいじめられていた場面</p>	<p>漫画のおかげでいじめられなくなった場面</p>	<p>先生から意外な言葉を聞いた場面</p>
<p>把握すべき状況</p>	<p>このアトムというキャラクターを生み、そしてアニメをつくったまんが家の名前は、手塚治虫。昆虫好きの治が中でもお気に入りだったのが、「オサムシ」。</p>	<p>大変な いじめられっ子でした。やせっぽちで背が低く、髪の毛が縮れていて眼鏡をかけていた治のすかぢは、いじめっ子たちにとってうってつけの「いじめの的」立ったのです。 ・「まんが」がいじめられっ子だった出のきっかけとなったのです。</p>	<p>・「家にそんなにいっぱい、まんが持っているのか。おまえんちのまんが読ませてくれよ。」 ・治がノートに書いたまんがは、クラスで回し読みされるほどの人気になったのです。</p>	<p>・治のかわいたまんがを授業中に読んでいた同級生が、先生に見つかってしまう事件が起きました。 ・「大いに、漫画を書きなさい。君は、将来漫画家になれるのだらう。」 ・治のまんがの才能はみんなにみとめられ、いじめられることもなくなりました。</p>
<p>主人公の心の動き</p>	<p>優しさ 自然愛</p> <p>・首が長くて目が丸く、夜でてきてよくえさを食べるこの虫が、見かけといい、名まえといいなんだかとてもじぶんになている気がしたのです。 ・「これから、ぼくの名前は治に虫をくっつけて『治虫』にするんだ。」</p>	<p>不安 悔しさ</p> <p>・泣き虫の いじめられっ子</p>	<p>得意 希望</p> <p>・とても得意な気分</p>	<p>個性伸長、向上心</p> <p>不安 喜び 自信</p> <p>・治は真っ青になって先生の待つ職員室へおそるおそる入って きました。 ・「先生は、ぼくの描いた漫画を、ちゃんと認めてくれたんだ！」 ・うれしくて、ほこらしくて、治は天にものぼる気持ちでした。</p>
<p>児童の反応</p>	<p>・このオサムシは、ぼくに似ているから大事にしよう。 ・昆虫の世界をもっと調べてみたい。 ・いろいろな昆虫がいて、虫はおもしろいな。</p>	<p>・いじめられないためにはどうすればいいのかな。 ・悔しい。 ・いじめられて嫌だ。 ・ぼくはただな人間なのか。 ・どうしていじめられるんだらう。</p>	<p>・みんなおもしろがって喜んでくれる。もっとおもしろい物を書きたいな。 ・ぼくが書いた漫画も読んでくれるかな。 ・みんながぼくに「まんがを読ませてくれ。」と頼みこ来る。気分が良い。</p>	<p>・もっとみんなが喜ぶ漫画を描こう ・先生が認めてくれた。ぼくのまんがはおもしろいな。 ・もっと書いてもいいんだ。うれし。 ・まんがを書けなくなったらどうしよう。またいじめられるようになるかもしれない。</p>
<p>基本疑問</p>	<p>友達からいじめられていたとき、治はどんなことを考えていたと思いますか。</p>	<p>自分が書いた漫画を喜ぶみんなをみて、治はどんな気持ちだったと思いますか。</p>	<p>先生からもっと漫画を書きなさいといわれた治はどんな気持ちだったと思いますか。</p>	